

第七十四回
帝國議會
貴族院

朝鮮事業公債法中改正法律案特別委員會會議事速記録第八號

昭和十四年三月十三日(月曜日)午前十一時二十五分開會

○委員長(伯爵堀田正恒君) 是ヨリ開會致シマス

○子爵秋元春朝君 是カラ提案ノ御説明ヲ伺フノデアリマスガ、大體ノコトニ付テノ御説明ナラバ、モウ本會議大員カラ直接伺ツクノデアリマスカラ、ソレヨリカモット詳シク細カク御説明願フ方ガ審議上非常ニ便利デハナイカト思ヒマス、皆サンニ御諮リ申上ゲマス

〔贊成「ト呼フ者アリ」〕

○政府委員(矢野庄太郎君) チョット私カラ申上ゲタイト思ヒマス、此ノ委員會デ、本會議大員ガ御説明致シタヨリハ幾ラカ細カイ事ヲ大藏省カラ申上ゲマシテ、ソレカラ後デ主管ノ政府委員ノ方カラ詳シイ説明ヲ申上ゲテ居ルノデスガ、左様ニ致シテ宜シウゴザイマスカ

○子爵秋元春朝君 成ルベク詳シイ程コチラハ結構デゴザイマスガ、竝ベテ詳シク御説明ヲ願ヒマス

○委員長(伯爵堀田正恒君) チョット伺ヒマスガ、アナタ仰セニナツテカラ尙主管ノ方

カラ續ケテ……

○政府委員(矢野庄太郎君) 臺灣事業公債法中改正法律案提出ノ理由ニ付テ御説明ヲ致シマス、臺灣事業公債法中改正法律案提出ノ理由ニ付キマシテハ、本會議ニ於キマシテモ申上ゲマシタ通り、臺灣總督府特別會計ニ於ケル既定繼續費港灣費ニ追加致シマスル中部港築港工事ニ要スル經費千五百萬圓竝ニ昭和十四年度豫算ニ計上致シマシタル鐵道改良ニ要スル經費三百四十萬圓、合計千八百四十萬圓ニ付キマシテハ、其ノ經費ノ性質及同特別會計歳計ノ現狀ニ顧ミマシテ、之ヲ公債財源ニ依ルコトト致シマシタル處、現行ノ臺灣事業公債法ニ依ル公債ノ發行餘力ガ十一餘萬圓アリマスル爲、差引千八百三十萬圓ダケ現行ノ臺灣事業公債ノ發行限度ヲ増加スルノ必要ガアリマスノデ、本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、ドウカ御賛成ヲ御願ヒ致シマス

○政府委員(森岡二朗君) 只今カラ御審議ヲ願ヒマスル公債支辨事業ノ大要ニ付キマシテ御説明申上ゲタイト存ジマス、交通施設ノ整備ガ産業ノ發達、文化ノ向上竝國防上カラ申シマシテモ、必要ナル要件デアリ

マスコトハ申ス迄モナイ次第デゴザイマスガ、近年臺灣産業ノ躍進ナル發達ニ伴ヒマシテ、物資ノ輸送量ハ異常ナル激増ヲ來シテ居ルヤウナ現狀デゴザイマスガ、之ニ對應致シマスル交通施設ニ付キマシテハ最近根本的ナ改善、整備ガ行ハレテ居ラナイ關係カラ致シマシテ、物資ノ増加ニ對シテドウモ輸送力ガ追隨シ得ナイヤウナ狀態デアリマシテ、現在ノ儘デハ殆ンド行詰ラムトスル有様ニアルノデゴザイマス、斯ウ云フヤウナ施設ノ現狀デハ更ニ臺灣産業ノ發達ヲ阻害スル虞レガアルバカリデハナク、更ニ現下ノ情勢ニ鑑ミマシテモ最モ力ヲ致サナケレバナラナイ、生産力ノ積極的擴充、本島ノ工業化竝國防及南方發展上ノ緊要ナル諸方策モ、圓滑ナル遂行ヲ望ミ得ナイト云フヤウナ次第デゴザイマスノデ、即チ現下ノ情勢ニ適應シテ本島ノ交通諸施設ノ急速ナル整備、改善ヲ圖リマスルコトハ最モ必要ナル事項デゴザイマス、仍テ今回公債財源支辨トシテ中部港ノ築港及鐵道ノ改良ヲ提案致シマシタヤウナ次第デゴザイマス、中部港ノ築港ハ總額千五百萬圓、四箇年間ノ繼續事業ヲ以テマシテ、産業ノ中樞タル

西部臺灣ノ略、中央部ニ位シマスル臺中州大甲郎梧棲街ノ海濱ニ於テ、新クニ工業的發展ノ要件ヲ具備致シマシタル港灣ヲ修築致シマシテ、以テ中部臺灣ノ要津ヲシメムトスルノデゴザイマス、現在御承知ノ通り臺灣ニ於キマシテハ、南港タル港灣ハ西部ニ基隆ト高雄ト二港、及ビ東部ニ於キマシテハ近ク竣工致シマスル花蓮港ガアルニ過ギナイノデアリマス、且基隆、高雄ハ孰レモ南北兩端ニ位シテ居リマスルノデ、港灣ノ分布狀態ハ甚ダ惡ク、又不足ヲ告ゲテ居ルヤウナ狀態ニ在ルノデアリマス、殊ニ支那海ノ東部ニ於ケル孤島デアリマスル本島ノ特殊事情ト云フ點カラ申シマシテモ、産業上、交通上竝ニ國防上、港灣ヲ新築増加致シマスルコトハ最モ必要ナル狀態ニ在ルノデアリマス、ソコデ總督府ニ於キマシテハ、先年來適當ノ地點ニ港灣ヲ新設スル爲慎重ナル調査計畫ヲ進メテ參ツクノデアリマスガ、今回漸ク成案ヲ得マシテ、之ガ實行ニ著手致シタイト思フノデアリマス、本事業ニ依リマシテ急激ナル本島産業ノ發展ニ對應致シマシテ、行詰リツ、アル本島交通施設ヲ根本的ニ刷新整備シ、又時局ニ即應シテ生産力ノ積極的擴

充、工業ノ開發、振興ヲ助長致シマシテ、劃期的ナル效果ヲ齎シマスルト共ニ、國防上ニモ大イニ資スル所アラムトスル次第デゴザイマス、次ニ鐵道ノ改良ニ付キマシテハ、本年度三百四十萬圓ヲ以テ鐵道輸送量ノ増加ニ對應致シマシテ、最モ急務ヲ必要ト致シマスル車輛ノ増加、停車場ノ改良並ニ線路及通信施設等ノ擴充、強化ヲ圖リタイト思フノデアリマス、以上ハ公債支辨事業ノ極ク概要デゴザイマスルガ、御質問ニ依リマシテ尙御答ヘ申上ゲタイト存ジマス

○委員長(伯耆堀田正恒君) 御質問ガゴザイマシタラ……

○男爵久保田敬一君 只今私ハ御説明ヲ聞落シマシタカラ、或ハ御説明ニナツタカト思ヒマスガ、此ノ築港ノ計畫ノアル所ハ梧棲ト云フノデスナ、此處ハ鐵道ノ連絡ハ、ドウ云フ風ニナツテ居ルノデゴザイマスカ

○政府委員(嶺田丘造君) 鐵道ハ只今ノ所清水街ト云フ所迄來テ居ルノデアリマス、サウシテ此ノ清水街ノ南ノ方ニ沙鹿庄ト云フノガアリマスガ、此ノ沙鹿庄カラズット南ノ方ヘ參リマシテ入ッテ行クヤウニナツテ居リマス

○男爵久保田敬一君 此ノ港ト之ヲ結びマス鐵道ノ線路ハ此ノ圖面ニハ入ッテ居リマセ

ヌガ、是ハ無論鐵道ノ改良計畫ノ中ニ入ッテ居ルノダラウト思ヒマスガ、如何デスカ

○政府委員(嶺田丘造君) 是ハ今回ノ計畫ノ中ニハ入ッテ居リマセヌ

○男爵久保田敬一君 此ノ港ノ設計ガアツテ、ソレニ連絡スル鐵道ノ計畫ガ無イト云フノハ非常ニヲカシイヤウニ思フノデアリマス、港ノ方ハ長ク掛リ、鐵道ノ方ハ直グ出來ルト云フヤウナ御考ダラウト思ヒマシガ、兎ニ角港ノ計畫ト云フモノガアリマシタラ、ソレニ對スル鐵道ノ連絡ト云フモノハ、ドウシテモナケレバナラヌモノダラウト思フノデアリマスガ、此ノ港ノ計畫ノ豫算ダケヲ先ニ御取リニナリマシテ、鐵道ノ豫算ハ又別ニ後デ御取リニナルヤウナ御考デアリマスカ

○政府委員(嶺田丘造君) 鐵道ノ方ノ引込線ノ豫算ハ後デ取ルヤウナ計畫ニナツテ居リマス

○男爵久保田敬一君 計畫ト致シマシテハ、築港ノ計畫ガアリマシタラ、ソレニ伴ッテ鐵道ノ方モ計畫ヲナサツテ、サウシテ後年ニ互ルカモ知レマセヌガ、其ノ豫算ヲ御取リニナル方ガ穩當デヤナイカト思フノデアリマスガ、サウ云フ御考ハナイノデアリマスカ

○政府委員(嶺田丘造君) 只今ノ所ハ港灣

ノ防波堤其ノ他港ノ浚渫ヲ四箇年程デヤラウト云フノデアリマス、是ガ段々進捗スルヤウニナリマスレバ、勿論ソレニ伴ヒマシテ引込線ノ方ノ豫算ヲ取ッテ計畫シテ行クコトニシテ居ルノデアリマス

○男爵久保田敬一君 只今豫算ニ御取リニナラナクテモ計畫トシテハ出來テ居ルノダラウト思ヒマスカラ、此ノ鐵道ノ連絡ニ對スル御計畫ノ大體ヲ、イツデモ宜シウゴザイマスカラ示シテ戴キタイト思ヒマス

○風間八左衛門君 此ノ築港ノ場所デゴザイマスガ、此ノ場所ニ御選ビニナツタト云フノハ、無論物資ノ關係カラデアラウト思ヒマスガ、此ノ場所ヲ御選ビニナツタ理由及此ノ海陸ノ關係等ニ付テ、モウ少シ詳シク承リタイト思ヒマス

○政府委員(嶺田丘造君) 大體臺灣ノ港ト致シマシテハ北ノ方ニ基隆ガアリマシテ、南ノ方ニ高雄ガアリマス、此ノ間ガ大體二百餘海里アルノデアリマシテ、内地デ見マスト、丁度九州ノ北ノ福岡ノ博多邊リカラ鹿兒島ノ間ニ一ツノ港モ無イト云フヤウナ状態デアリマス、内地デアリマス、長崎デアリマス、三角デアリマス、三角デアリマス、大概百海里見當ノ所ニ必ズ相當ナ船ノ入ルヤウナ港ガアリマスガ、臺灣ノ西ノ方ノ海

岸ハ色々ナ關係、特ニ砂ナドガ非常ニ寄リマスル關係、又海ノ深サガ非常ニ砂ノ爲ニ變リマスヤウナ關係デ從來調査ヲシテ居タノデアリマスガ、今迄ソレガ出來ナカッタノデアリマス、最近臺灣ノ農産物ガ非常ナ勢デ増産サレテ居リマス、又色々軍需ノ關係ナドデ、基隆、高雄ダケデハ到底十分荷役ヲスルコトガ出來ナイト云フヤウナ狀況ニナツタノデアリマス、昔カラ此ノ調査ヲ尙最近改メテ致シマシテ、結局梧棲地方ガ一番良イノデハナイカト云フヤウナコトニ定ツタノデアリマスガ、ソレニ付キマシテハ、尙南ノ方ニ鹿港ト云フ所ガアリマス、又新竹迄ノ間ニ或ハ港ニシ得ルヤウナ所ガナイカト思ヒマシテ、鹿港ヲ中心ト致シマシテ南北ヲ調べテ見タノデアリマスガ、從來「ジャンク」ナドノ入リマシタ南ノ方ノ鹿港ニナリマス、海岸線ノ變化及海底ノ變化ガ相當ニヒドイノデアリマシテ、相當沖ノ方ニ參リマシテモ尙且海底ノ變化ガヒドイノデアリマス、北ノ方ニ參リマスルト海底ノ變化ハヒドクハナイノデアリマスガ、山ガ海岸ノ近クニ寄ッテ居リマシテ平坦地ガ無イ、從ッテ工業地帯ナドヲ作ルノニハ非常ニ不便ダ、結局海岸線ニ餘リ變化ガ無イ、相當防波堤ヲ出シマスレバモウ海ノ底ガ餘

リ變化ノナイ線ニ達シ得ル所デ、而モ後方地帯ニ相當廣イ土地ガアリ、又電源ナドモ近クニアルト云フヤウナ所ハ、結局梧棲ヨリ外ニハナカラウト云フノデ、梧棲ノ海岸ニ定メタヤウナ次第デアリマス、丁度此處ハ臺灣デ一番人口ノ多イ所デ、臺中州ノ丁度中央部ニナルノデアリマシテ、臺灣總體ノ人口ノ約四割弱ガ此ノ近クニアルノデアリマシテ、色々ノ事業ヲヤル上ニ付テモ、勞力トシテ最モ得易イ所デアリマス、又土地ト致シマシテモ、此ノ勢力範圍ト云フモノハ臺灣西海岸ノ約三割位ハ此ノ中ニ入ルノデアリマシテ、而モ非常ニ豐饒ナ土地デアリマス、ソレカラ電源ト致シマシテモ、此處ヲ中心トシテ考ヘマスルト百萬「キロ」ノ電源ガ此ノ近傍ニアルノデアリマシテ、殊ニ最モ近イ大甲溪ヲ利用致シマスルト、極ク近イ所デ約五十萬「キロ」位ノ電力ガ得ラル、ノデアリマス、丁度此ノ梧棲ノ少シ北ノ方ニ出テ居リマスル川ノ奥ノ方デアリマス、是等ハ此處デ色々ノ事業ヲ起シマス上ニ電源ガ非常ニ近イノデアリマスルカラ、送電線ナドモ幾ラモ要リマセヌ、又電氣ノ「ロス」ナドモ非常ニ少イノデアリマシテ、從ッテ廉ク電力ガ供給サレルト云フヤウナ狀況ニアルノデアリマス、尙此ノ基隆カラ約百

海里、高雄カラ約百海里位ノ所デアリマス……少シ違ヒマスガ、大體其ノ見當位ノ所デアリマスガ、斯ウ云フ所ニ港ヲ造リマスト、現在內臺航路ガ基隆ヲ中心トシテ内地ヘ通ッテ居ルノデアリマスガ、丁度一晚デ此處ヘ來ラレマス關係上、或ハ此處迄延バシテ、旅客、貨物ナドモ此處カラ直グ積メルト云フヤウナ狀態ニナルノデハナイカト存ジマス、從ッテ此處カラ出マスル、此ノ邊ヲ中心トシテ出マスル各種ノ農產物或ハ砂糖ト云フヤウナモノノ運賃ニ又非常ナ關係ガアルト思ヒマスカラ、此ノ土地ヲ選ンダヤウナ次第デゴザイマス

○風間八左衛門君 只今ノ御説明デ、此ノ場所ニ御設置ニナツタ理由ハ、能ク解リマシタノデゴザイマスガ、是ハ此ノ圖面ヲ拜見スルト、工場地帯モ大分御造リニナルヤウデゴザイマスガ、此ノ參考書類カ何カヲ拜見スレバ能ク解ルカモ知レマセヌガ、大體船ハドノ位ノモノガ出入リ出來ルカ、何「ト」位ノモノガ出入リスルコトガ出來ルカ、ドウ云フ風ニナルノデアリマスカ此ノ事ノ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(森岡二朗君) 實ハ先程御説明致シマスル場合ニ申上ゲルノガ不十分デアッタカト思ヒマスガ、此ノ梧棲ノ只今要求致

シテ居リマス千五百萬圓、是ハ第一期工事ト云フコトニナツテ居リマス、サウシテ第二期工事ハ引續イテ三年間ニヤルコトニナツテ居リマシテ、此ノ一期、二期ヲ通ジマシテ、始メテ梧棲港ノ完成ヲ見ル譯デアリマス、デ此ノ全部ノ完成ヲ見ル爲ニハ約二千七百萬圓ノ計畫ヲシテ居ル譯デアリマス、デ二千七百萬圓ノ計畫ニ依ッテ完成致シマスルナラバ、大體一萬「トン」位ノモノガ約二十一隻岸壁ニ繫留セラレルコトニナリ、或ハ其ノ他漁船等モ多數入ルコトガ出來ルノデアリマスガ、此ノ第一期工事ダケデハ實ハ十分ナル機能ヲ發揮出來得ナイノデアリマシテ、先ヅ出來ルダケ早く此ノ港ヲ使フヤウニ致シタイト云フノデ、第一期工事ノ完成ヲ致シマシタダケデハ中型汽船ガ五艘位、ソレカラ驅逐艦位ハ入り得ル程度デゴザイマス、尤モ漁船等デ入ルモノハ相當ゴザイマス、ソレデ第一期工事ノ完成デハ不十分デアリマスノデ、一日モ早く利用セシメ得ルヤウニ致シタイト思ヒマシテ、第一期工事ノ完成ニ依リマシテ、其ノ程度ノモノニナルノデアリマス、サウシテ本當ノ梧棲港ノ使命ヲ完ウシ得マスルノハ、第二期工事ノ完成ニ依ッテ出來上ルコトニナルト考ヘテ居リマス

○風間八左衛門君 只今ノ御説明デ何ト申シマスルカ、此ノ案ニ賛成ヲ致シマス點ニ非常ニ心強ク思フノデアリマス、今日ノ情勢カラ參リマスルト、支那ノ方面ニ向ッテモ、殆ド南ノ方トノ關係ヲ非常ニ持ッテ居リマスシ、對支的ニ此ノ臺灣ハ非常ニ重要ナ使命ヲ持ッテ居ル次第デアリマスカラ、只今ノ御説明ノヤウニ成ルベク早くヤル計畫ヲ段々御遂行ニナツテ、サウシテ其ノ使命ヲ盡サレルコトガ、此ノ際非常ニ結構ナコトデハナイカト自分ハ考ヘマス、サウ云フ希望ダケヲ申述べマシテ、私ノ質問ハ是デ終リマス

○子爵野村益三君 私ハ此ノ參考資料ヲマダ能ク拜見シナイデ質疑スル譯デスガ、大體今度ノ計畫ハ其ノ當ヲ得タモノト思ヒマス、處デ北ノ方ノ淡水、南ノ方ノ高雄、是トノ關係ハドウナリマスカ、此處デ以テ百五十萬「トン」ノ荷役ノ仕事ガ可能ニナルヤウニ、ソレニ對應シテデスネ、南ト北トノ修築工事ハドウナルノデスカ、此ノ儘デ宜イノデスカ、ドウ云フ風ニ……

○政府委員(續田丘造君) 大體基隆、高雄ハ孰レモ十八年位ニ全部完成スルヤウニナルノデアリマス、勿論基隆ノ方ハ大體ノ完成デアリマシテ、尙或ハ岩壁下カ、上屋ト

カ、外部ノ方ハ更ニヤル必要ガアリマス、又高雄ノ方モ更ニ十七年ニ完成致シマシテ、尙奥ノ方ヘ掘ッテ參ル、或ハ埋立ヲシマシテ、ソコノ所ニ岩壁ヲ造リマスレバ、ドン／＼擴張ハシテ行ケルノデアリマスガ、現在ノ所基隆ニ致シマシテモ、高雄ニ致シマシテモ、モウ殆ド完成時期ニハ荷物ガ一杯ニナルヤウナ情況ニナッテ居ルノデアリマス、詰リ荷役ノ能力ガモウ殆ドナクナルヤウナ情態ニナッテ居ルノデアリマス、デアリマスルカラ、何トカシテ之ヲ緩和スルノハ勿論必要ガアルノデアリマスガ、中部港ヲ造リマシテ、大體是デ百五十萬「トン」ノ荷役能力ガ出來マスルト、此ノ中部方面デ出來マスル諸般ノ農産物、又只今色々計畫サレテ居リマスル化學工業ノ製品ト云フヤウナモノガ、此處カラ出ルヤウニナリマスノデ、北南ノ能力ガ餘程緩和サレト思フノデアリマス、何レモ其ノ爲ニ勿論基隆ノ方ノ勢力範圍ト申シマスカ、サウ云フモノハ幾分力狭クナリマス、又高雄ノ方モ勢力範圍ト云フモノハ幾分狭クナリマスガ、ソレデ丁度何レモガ十分能力ヲ發揮シ得ルヤウニナルト思ヒマス

○子爵野村益三君 サウシマスト、只今、現在デハ基隆竝ニ高雄ノ荷揚能力ガドノ位

デ、今御話ノ十八年度ニ修築工事が完成スルト、同ジ兩港ノ荷揚能力ハドノ位ニナル御見込デスカ

○政府委員(嶺田丘造君) 大體現在基隆ノ一箇年ノ荷揚能力ハ、石炭ガ八十萬「トン」デアリマシテ、其ノ他ガ二百萬「トン」デア

ルノデアリマス、ソレデ昭和十二年ノ出入貨物ガ、石炭ガ九十萬「トン」デアリマシテ、其ノ他ノ貨物ガ二百八十萬「トン」ト云フヤウナコトニナッテ居リマス、詰リ非常ニマア今ノ所ハ、是ハ特別ノ事情モアリマスガ、荷揚能力ヲ超過シテ居ルト云フヤウナ情態デアリマス、ソレカラ高雄ハ標準荷揚能力ガ百萬「トン」デアリマスガ、昭和十二年ノ出入貨物ガ二百九十萬「トン」ト云フヤウナ工合ニナッテ居ルノデアリマス、ソレデ中央ニ中部港ガ出來マス、是等ノ荷物ガ餘程其ノ方ニ寄リマシテ、基隆、高雄モ荷揚ノ能力ヲ今超過シテ居ルヤウナモノガ緩和サレル、斯ウ云フヤウニ思ッテ居リマス

○子爵野村益三君 先刻ハ十八年度ニ修築工事が完成スルト云フ話デシタガ、サウナリマス、ドウナリマスカ

○政府委員(嶺田丘造君) チョット其ノ計算ハ今持マセヌガ、何レ……

○子爵野村益三君 今回ノ修築ノ計畫ニ依

リマス、漁港ノ收容能力ハドウナリマスカ

○政府委員(嶺田丘造君) 大體漁港ノ方ハ百艘程ノ漁船ヲ繋留スルト思ッテ居リマス

○子爵野村益三君 只今北ト南ト漁港、殊ニ高雄デスガ、是ハ何艘位收容出來マスカ

○政府委員(嶺田丘造君) 基隆、高雄孰レモ二百艘位ノ收容能力ガアリマス

○子爵野村益三君 サウスルト此ノ度ノ梧棲、此ノ漁港ニハドノ位御掛ケニナルノデスカ

○政府委員(嶺田丘造君) 是ハ漁港ノ方ハ臺中州デヤルコトニナッテ居リマシテ、大體百萬圓程デアリマス

○子爵野村益三君 只今ノ此ノ貨物ノ荷揚能力其ノ他ヲ考慮シテ見テ、今回ノ企ハ適當デアルト云フコトヲ我々認メテ居リマス

○政府委員(嶺田丘造君) 唯特ニ御注意申上ゲタイコトガアルノデスカ

○子爵野村益三君 今回ノ第一期ノ修築計畫デ昭和十七年迄掛ル、而シテ其ノ次ノ第二期ノ工事ヲ行フ此ノ地圖デ大勢ヲ見テモ大シタムツカシイ工業デハナイノデ、第二期ノ修築工事モ……素人考デモ北ノ方ニ延セバ岩壁モ出來ル譯デ、水面積モ擴張セラレル譯デ大シタ難工事デモ無論ナイノデアリマス、唯今迄ノ内外ノ實情ヲ考ヘテ見ルト、土木工事殊

ニ港灣ノ修築工事ト云フモノハ第一ニ甚ダ切詰メタ設計ナンデ、四五年經ッテ狀勢デ變ルト云フト又第二、第三ノ修築工事ヲヤラナケレバナラス、或所デハモウ引續イテ十數年來アスコライデリ、此處ヲイデリシテ居ルヤウナ有様ナノデ、私ハ豫テ思フノデスガ、殊ニ此ノ港灣ノ修築工事ト云フモノハ、初カラ少シ思切ッテ大キク規模シタ方ガ宜イ、之ガ經濟的ニ云ッテモ、實際的ニ云ッテモサウヤルベキモノダ、斯ウ思ッテ居ル、今度ノ御計畫ハ果シテサウ云フ點ヲ考慮サレテ居ルカ知リマセヌガ、ドウカ一ツ思切ッテ大規模ニオヤリニナルト云フコトヲ希望シテ置キマス、第二期工事デモ千數萬圓ノ金ヲ掛ケラレルノデスカ、矢張り三年カ四年掛ル、サウスルト第二期工事が完成スルノニハ八年ノ將來、八年ノ將來ヲ考ヘテ見ルト荷揚ノ能力ナドヲ大キク考ヘナクチャナラナイ、ソレデ第一期工事ハ斯様ニ金額モ御計上ニナリマシタカラ、今更擴張サレルト云フコトモドウカト思ヒマスガ、第二期計畫ノ時ニハウント大キク……御見積ヲ御考ニナルコトヲ申上ゲテ置キマス、ソレダケヲ申上ゲテ置キマス、尙其ノ點ニ付テ御考ガアレバ併セテ承ッテ置キタイ

○政府委員(森岡二朗君) 誠ニ御尤ナ御意

見ヲ伺ヒマシタノデアリマス、實ハ打開ケテ申上ゲマスルト、是ハ一期、二期ト分ケテ居リマスガ、實ハ一ツノ計畫デゴザイマスノデ、此ノ財政上ノ都合ト申シマスルカ事業公債ノ關係カラ見マシテ、便宜上一期、二期ニ分ケタヤウ次第デゴザイマシテ、實ハ是ハ一ツノ計畫ニ致シテ居ル譯デアリマス、此ノ計畫ハ或ハ將來ニ於テノ計畫トシテハ、ドウダラウカト云フヤウナ御考ヘ方モゴザイマスカト存ジマスガ、先ヅ色々案ヲ立テマシテ、是ヨリモ大體規模ノ小サイノモアリ、大キイノモアルヤウニシマシタノデアリマスガ、大體現在カラ云フト、豫想サレル狀態デハ、先ヅ此ノ邊ガ適當デナイカト云フ風ニ考ヘタ譯デアリマス、唯將來ニ於キマシテハ地圖ヲ御覽願ヒマス通り、南ノ方ニ黃色ク塗ッテアル部分ガアリマスガ、是ハ第二期工事ニ入ッテ居ル譯デアリマシテ、將來必要ガアレバ、山ノ方面ガ幾ラデモ延バシ得ルヤウナ計畫ヲ立テ、居ル譯デアリマシテ、サウスルト相當收容力ガ増スコトニナル譯デゴザイマス

○子爵野村益三君 サウスルト、此處ニ地圖ニ現サレテ居リマスノハ、是ハ全計畫デスカ、第一期ケデスカ

○政府委員(嶺田丘造君) 地圖ニ現レテ居

リマスノハ全計畫デアリマシテ、唯其處ニ後カラ塗ッテアリマスル……差上ゲタノニハ塗ッテ居ナイノデスガ、其ノ中ノ今ノ一部分、先ヅ大體申上ゲマスルト、防波堤ヲ先ノ方ヲ少シ殘シマシテ、アトヲ完成スル、ソレカラ掘リマス部分モ、其ノ一部分モ矢張り是ハ全部ノ計畫デアリマシテ、埋立モ一部分ヲヤル、取敢ズ三千「トン」級ノ船ガ五六隻入ッテ來ルト云フヤウナ都合ニシテアリマスノデ、御手許ニ差上ゲタ圖面ノ方ニハソレガ入レテナカッタノデアリマシテ、全部ノ計畫ガ現レテ居ルヤウナ譯デアリマス

○子爵野村益三君 サウシマス、收容水面積ト云フモノハ此ノ朱線ヲ現シテ居ル北防波堤、南防波堤、殊ニ北ノ方ニ向ッテ、今ノ御話ノハ第二期完成ノ後ニ擴張セラレ得ル、斯ウ考ヘテ宜イノデアリマスガ

○政府委員(嶺田丘造君) 今ノ、長官モチヨット御話ニナリマシタ第二期工事後デモ擴張シ得ルト云フ御話ハ、港ノ中ガマダ一部圖面ニアリマス通り約九「メートル」程掘ルノデアリマスガ、青ク塗ッテ部分デアリマス、ソレハマダズツ廣クシ得ル餘地ガアリマス、詰リ第二期計畫以後ニモ繫留船舶ヲ殖サウト思ヒマスカラ、九「メートル」掘リマスレバ一萬「トン」級ノ船ガ更ニ入ッテ來

ル、現在完成シタ所デ二十一隻デアリマスガ、ソレガ尙餘計ニ入ッテ來ルト云フコトガ出來ル、斯ウ云フ豫定デアリマス

○風間八左衛門君 只今ノ御説明中ニモ一期、二期ノ工事ヲナサツテ、其ノ後ニ其處ヲ擴張スルニハ工業地帯ノ方モ擴張シ得ル、ソレヲ大キクスルニハ如何様ニモ出來ルト云フ風ノ御説明ノヤウニ聽イタノデスガ、處方圖面ヲ拜見スルト港口ト云ヒマスガ、此ノ入口ガ或ハ狭イノデナйка、是デ果シテ工業地帯ノ方ニ參ルノニ是デ宜イノデアリマセウカ、何方圖面カラ見マス素人考デヤ苦シイヤウニ考ヘルノデスガ、初カラ矢張り野村サンノ仰シヤッタヤウニ、將來少シ大キク御考ニナツテ御計畫ニナッタ方ガ宜イデヤナйкаト云フ風ノコトヲ、素人ドシテ考ヘルノデスガ、ソレハドウデスカ

○政府委員(嶺田丘造君) 大體此ノ港ノ入口ト云フノハ二百「メートル」ニシテ居ル、詰リ防波堤ノ口ハ三百デアリマシテ、水路ガ二百「メートル」斯ウ云フコトニナツテ居リマスノデ、大體此ノ位アレバマア宜カラウカ、斯ウ云フヤウナ積リデ居ルノデアリマス、ソレカラ尙チヨット補足シテ申上ゲマスガ、黃色ク塗ッテアリマスノハ、大體コチヲノ方ハ工場地帯デアリマシテ、其處ノ

眞中ノ水路ヲ防波堤ヲ拵ヘマシテ入ッテ來ルヤウニ致シマス、ソコノ所ハ臺中州デ埋立ヲ致シマシテ、目的ハ大體工業地帯ヲ其處ヘ造ラウト云フノガ目的ニナツテ居ルノデアリマス、本船ハ大體防波堤ノ中ヘ入ルノデアリマシテ、ソレカラ團平サウ云フヤウナモノデ持込ムコトニナリマス

○風間八左衛門君 是ハ運河ヲ造ッテ、ソレガ港灣ノ中ニ入ル、斯ウ云フ風ニ……

○政府委員(嶺田丘造君) 左様デアリマス

○風間八左衛門君 ソレナラバ港内デ十分ニ操作出來ル、斯ウ云フコトニ御考ニナツテ居ルノデスナ、結構デス

○委員長(伯耆堀田正恒君) 如何デスカ、午前ハ此ノ程度デ休憩シテ、午後ハ三時半迄宜イト云フコトデアリマスカラ……

○子爵野村益三君 私ハ企畫院總裁ニ質疑ガ殘ッテ居ルノデ、適當ノ時機ニ……

○委員長(伯耆堀田正恒君) ソレデハ休憩シマス、午後ハ一時半カラ開會致シマス

午後零時七分休憩

午後一時四十二分開會

○委員長(伯耆堀田正恒君) 是ヨリ午前ニ引續キマシテ地方鐵道法及軌道法中改正法律案ノ特別委員會ヲ開會致シマス

○子爵秋元春朝君 極ク小サナ問題デス

ガ、二三地方鐵道並軌道法ニ付テ御質問シテ見タイト存ジマス、前回ノ時ニハ目下御互ガ非常ニ心配致シマス此ノ交通ノ不便、ソレカラ又輸送ノ不便ト云フコトニ付テ相當ノ御質問ガアツクデゴザイマスガ、特ニ皇紀二千六百年デシタカ、一年カ先ノ交通ノ對策ニ付テ御話ガアツクヤウデアリマス、私ハモット手近ナ現在ニ我々ガ足ノ脅威ヲ非常ニ感ジテ居リマスシ、尙又輸送ノ方ノコトニ付テモ非常ニ不便ヲ感ジテ居ルノデアリマス、來年乃至若シハ再來年ト云フヤウナ先ノコトニ付テハ相當ノ御對策ガ無論アルデアリマセウガ、併シ急場ヲ救フ爲ノ最モ今即時ニ面シテ居ル所ノ何カ應急對策ト申シマスカ、何カ御計畫ガアルノカナイノカ、無論多少ハアルドラウト思ッテ居リマスガ、例ヘテ見レバ、新聞ナドニモチヨイ／＼出テ居リマスガ、電車ノ終夜運轉トカ何トカ云フヤウナコトノ方法、其ノ他又客車ガ非常ニ足リナイ、併シ之ヲ持ッテ居ッタ日ニハ何時ノコトダカ分ラナイカラ、此ノ急場ノ一ツ輸送力ヲ殖サナケレバナラスト云ヘバ、先ヅ色々ナ客車ノ構造ダトカ、或ハ人員ノ定員トカ、色々ノ規定ガアリマセウガ、無蓋貨車デモ構ハナイカラ、ソレニ「デント」デモ張ッテ應急

的ニ人ヲ輸送スルトカ、是ハ主ニ交通ノ方デアリマスガ、同時又輸送ノ方ニシテモ、今迄ノ通りノモノヲ活カシテ行カウトスレバ「ガソリン」ガ不足シテ居ルカラ、木炭ニスルトカ何トカ云フコトニナリマスクレドモ、ソレニシテモ折角木炭ハ手ニ入ッテモ木炭瓦斯ガ出來ル設備ヲシテモ箱ガ足リナイ、尙又乗合自動車ニシマシテモ、車ノ方ノ「ゴム」ノ統制ニ引懸ッテ、「ゴム」ガ手ニ入ラストスルト、折角代用品ヲ使ッテヤラウト云ッテモ、ソコデ行詰ルト云フヤウナ話デ「ゴム」ノ方ガ足ラスト云ッテ居レバ、何ニモナラヌ話デ、一二年ノ日時ヲ假セバ、ソレハ立派ナ對策ガ出來テ、足ノ脅威モ輸送力ノ不足モナイヤウニナリマセウガ、差當ッテ今ノ問題ヲドウ云フ風ニ爲サルカト云フヤウナ御對策ガ若シアレバ、ソレヲ伺ッテ見タイト思ヒマス、ソレカラ又乗合「バス」或ハ自家用自動車ニ致シマシテモ「ガソリン」ノ代リニ木炭瓦斯ヲ使フト云フ、又其ノ木炭瓦斯ニシマシテモ「チューブ」ニ入ッタ瓦斯ヲ使ヘバ非常ニ便利デモアルシ、又其ノ自動車ノ改造ニシテモ非常ニ金ガ安イ、斯ウ云フヤウナコトガアルノデアリマスガ、サウ云フヤウナ方法ハ無論御考ニナッテ居リマセウガ、是ハ商工省ノコトダカラ俺ハ知

ラスト仰シヤレバ、ソレ迄ノコトデアリマスガ、併シ交通ノ方ノ行政ヲ御持チニナッテ居ルノデ多少其ノ邊ノ連絡ガアルト思ヒマスガ、斯ウ云フ急場ニ應ズル立派ナ對策ガ出來ル迄ドウ爲サル御積リカ、非常ニ行詰ッテ居ルト思ヒマス、世間デハ殺人「バス」、殺人自動車、殺人省線ト云フヤウナ惡口モ言ッテ居リマス、此ノ對策ヲドウ爲サルカ、從ッテ又輸送ノ方ニシテモ目下物價ガドン／＼上ッテ來テ居ル、又一方デ抑制策ヲヤッテ居リマスガ、要スルニハ輸送量ノ増加ニ對シテ、ソレダケノ輸送設備ガ十分間ニ合ハヌト云フ所ニ不便ガアルト思ヒマスガ、其ノ點ニ付テノ應急の對策ガ何カ御腹案ガアレバ、早速實行スル、或ハ來月カラデモ實行スルト云フヤウナ、或ハ省線ノ終夜運轉トカ何トカサウ云フコトガアレバ、一ツ御話ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(山田新十郎君) 最近ノ旅客輸送ノ幅濫ニ關シマシテ何カ應急の對策ヲ考ヘテ居ルカト云フヤウナ御尋デアツクヤウデアリマスガ、是ハ度々申上ゲテ居リマスル如ク、事變勃發以來軍事輸送並ニ外地ニ車輛供出ヲ致スト云フヤウナ爲ニ、ソレニ對應スル策ト致シマシテ、先ヅ貨物輸送ヲ主トシテ旅客輸送ヲソレニ次イデ考ヘル、從ッテ事變突發當初ニ於キマシテハ、旅客列車ノ「キロ」ヲ一日約八千「キロ」モ取消シマシテ、其ノ餘力ヲ軍事輸送、或ハ其ノ他ノ軍事的ノ方面ニ割カナケレバナラスト云フヤウナ狀態デアリマシテ、況ヤ旅客列車ヲ増發スルト云フヤウナコトハ、到底突發當時ニハ出來ナカッタデアリマス、其ノ後漸次軍事輸送方面モ多少緩和ヲシテ參リ又一方車輛ノ補充モ漸次附イデ參リマシタノデ、先ニ取消シマシタ列車ノ復活デアルトカ、或ハ各方面ニ軍需關係ノ工業等ガ非常ニ澤山出來マシテ、ソレノ通勤關係ノ要求ガ相當アリマシタノデ、是等ニ對處致シマシテ、取敢ズ臨時的ノ措置ト致シマシテ、昨年ハ臨時列車ヲ出シマシテ、一應之ニ對應致シマシタ、尙最近ハ二月ノ十五日附デアリマシタガ、約三千「キロ」ニ互リマシテ列車ノ増發ヲ既ニ實行ヲ致シタ次第デアリマス、是モ尙現在ノ輸送ノ狀態カラ見ルト、全ク燒石ニ水ノ感ガアルノデアリマシテ、來年度ニ於キマシテハ相當廣範圍ニ互リ旅客貨物ノ輸送力ノ増加ニ伴ヒマスル時刻改正ヲ行ハナケレバナラスト、又列車ノ増發モ相當行ハナケレバナラスト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、只今モ御話ニ出マシタ例ヘバ東京市内ノ省線ノ終夜運轉ノ如キモ、昨年

モ相當此ノ問題ニ付テハ我々トシテハ研究ヲシテ居ルノデアリマスルガ、終夜運轉ヲ致シマシテ、果シテソレダケノ需要ガアルカナイカ、又需要ガ少イニシテモ是非運轉スベキ必要ガアルカナイカト云フヤウナコトモ色々研究ヲ致シテ居ル次第デアリマス、省線モ晩ク迄運轉シテ居ルノハ一時近

ク迄、早ク運轉スルノハモウ四時頃カラ運轉シテ居ル譯デアリマス、尙此ノ點ニ付キマシテハ其ノ他ノ民間ノ交通事業トモ連繫ヲ取リマシテ、眞ニ實情ニ合フヤウナ方法ヲ考ヘテ行キタイ、ガ、マダ此處デ申上ゲル程ノ具體的ノ案ヲ持ッテ居ラナイノデアリマス、尙事變以來團體列車ヲ殆ド全部的ニ御斷リ致シテ居ルヤウナ次第デアリマシテ、是等ノサウシタ一時的ノ團體ノ旅行ハ成ルベク遠慮シテ戴イテ、一般的ノ輸送ノ方ニ其ノ力ヲ廻シタイト考ヘテ居ルノデアリマシテ、サウ云フヤウナ方法ヲ現在執ッテ居ル、又例ヘバ昨年迄ハ四月中ト雖モ旅客ノ割引率ハ他ノ月ニ比シテハ低カッタノデアリマスガ、ヤッテ居ッタノデアリマス、今年四月中ハ客ガ非常ニ多イノデアリマシテ、是ガ爲ニ斯ウシタ割引率スルノハ當ヲ得テ居ラ

割引ヲ殆ド全廢ニ近イ程度ニ迄廢シマシテ、其ノ力ヲ一般輸送ニ廻シテ居ル、斯ウ云フ風ニ色々ナ方法ヲ執ッテ居ルノデアリマス、尙將來ニ於キマシテモ、其ノ時々ノ事情ニ即應シテ出來ルダケ輸送力ノ強化ニ努メテ參リタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○子爵秋元春朝君 大體ノ御説明ハ承リマシタガ、満足ハ致シマセヌ、モット早く、戰爭始ッテ以來モウ一年有半モ經ツノデアリマスカラ、此ノ位ノコトハモウ御見込ガ著イテ居ナケレバナラヌコトガラウシ、現ニ私首メ、サウ仰シヤル當局ノ方モ電車ニ御乘リニナレバ分ルト思ヒマス、甚ダ少シ遲イヤウナ氣ガ致シマス、併シ其ノ點ニ付テ尙御考慮ニナルト云フコトデアリマスカラ、取敢ズ十分ニ一ツ應急策ニ力ヲ入レラレムコトヲ望ミマス、元來私ハサウ思ッテ居リマス、此ノ戰爭ガ始リマス、陸軍ダケデハ連モイカヌカラ、國民皆學ッテ、一ツ總動員デヤッテ呉レ、殊ニ銃後ノ護リニ付テハ國民ノ非常ナル活動ヲ頼ム、斯ウ云フ譯デ我々銃後ノ護リノ責任ヲ果スニ付テハ、色々ナル方面ガアリマセウ、ガ、併シ何ヲ言ッテモ、足ヲ取ラレテ、交通機關ガナクッテハ活動ハ十分ニハ出來マセヌデ、何モカモ「スピード・アップ」デ行カウト云フ世ノ中ニ、足ノ方ハ

「スロー・ダウン」デハ一向間ニ合ハヌ、ガ、働キハ「スピード・アップ」時代ト同ジコトヲシテ呉レト云フノハ、是ハ無理ナ話デアルト思フノデアリマス、併シ一二年待テバ色色ナ御計畫ガ出來ルヤウニナリマセウガ、ソレ迄研究中デ、イヤ商工省ガドウダノ、企畫院ガドウダノ、物資ハ軍需品ノ方ニ餘計ヤッタ、ソレダケヤッテ居ッテハ、始末ガ著カヌノデハナイカ、此ノ點モ御考ヲ願ヒタイト思ッテ居リマス、是ダケ申上ゲテ置キマス

○男爵久保田敬一君 チョット簡單ニ伺ヒマスガ、補償ノコトヲチョット伺ヒタイト思ヒマス、ソレハ鐵道ヲ敷設シテ、地方鐵道及軌道ニ併行或ハ近接シタ時ニハ、補償ノ制度ガアリマスガ、ソレカラ省營「バス」ヲ運轉シテ、ソレガ爲ニ地方ノ「バス」ニ影響ヲ與ヘタ時ニハ補償ノ例ガアルノデアリマス、省營「バス」ヲ運轉シタ爲ニ私設鐵道及軌道ニ影響ヲ及シタル時ノ補償規定ト云フモノハマダナイノデアリマス、ソレガ爲ニ省營「バス」ヲ運轉致シマスルニ付テモ、所ルベク地方鐵道及軌道ニ影響ノナイヤウナ所ヲ選シテ運轉シテ行クト云フヤウニ、隨分窮屈ナコトヲヤッテ居ル場合モアルノデアリマス、例ヘバ上田カラ澁川ノ方ヘ行

キマス省營「バス」ハ、上田カラ出スベキモノヲ私設鐵道、軌道ガアル爲ニ、其ノ途中カラ出シテ居ッテ、地方ノ人ハソレガ爲ニ非常ニ不便ヲ感ジテ居ルヤウナコトガアルノデスガ、此ノ私設鐵道及軌道ニ對シテ省營「バス」ガ影響ヲ及シタ時ニ補償スル規定ガアレバ、遠慮ナシニ省營「バス」モ出來ルヤウナ次第デアアルノデスガ、ソレガ爲ニサウ云フ風ニ不便ニナッテ居ル、是ハ其ノ省營「バス」ノ影響ヲ及ス地方鐵道及軌道ニ補償ヲ與ヘル法規ヲ作ッテ欲シイト云フコトハ、前ニ貴族院ノ希望トシテ出テ居タヤウニ承知シテ居リマスガ、其ノ後ノ經過ハ如何ニナッテ居リマスカ、承リタイト思ヒマス

○政府委員(鈴木清秀君) 今久保田男爵ノ申サレマシタ通りニ、現行法ニ於キマシテハ省營ノ自動車ガ自動車業者ノ路線ヲ共通ニシタ場合ニ於キマスル廢止補償ト減益補償ヲ認メテ居リマスシ、又地方鐵道、軌道ニ接近並行致シマスル場合ニ於テハ、地方鐵道ニ付テハ廢止補償、減益補償ヲ認メ、軌道ニ於テハ廢止補償ヲ認メテ居リマスガ、省營「バス」ガ他ノ地方鐵道、軌道ニ接近並行シタ場合ニ於キマシテハ是等ノ補償制度ヲ認メテ居ラナイノデアリマス、是ハ自動車ト鐵道ト異種ノ交通機關ハソレト各機

能ガアリマスシ、各、交通分野ガアリマスルカラ、假令多少ノ打撃ガ一時アッデモ大シタコトデハナイト考ヘテ居リマスルガ爲ニ、只今ノ所設ケテ居ラナイノデアリマス、モウ一ツハ若シモ異種交通機關ニ迄補償ノ制度ヲ設ケテ行キマス、地方鐵道ダケノミナラズ、其ノ沿線ニアリマス所ノ人力車其ノ他ニ於キマスル所ノモノニ迄モ補償ノ途ヲ開イテ行カナケレバナラヌ結果モ生ジヤシナイカ、其ノ關係、範圍ヲドウ云フ風ニスルカ、又其ノ損害ノ測定ヲドウ云フ方法ヲ取ルカト云フコトニ付キマシテ、仰セラレタ通り貴族院ノ希望決議モゴザイマシタノデ、其ノ後相變ラズ研究ハ續ケテ居ルノデアリマスガ、未ダ良イ方法ガ見附カリマセヌノデ、此ノ補償ノ制度ヲ實現スル譯ニ行カナイヤウナ狀態デアルノデアリマス、尙省營「バス」ヲ地方鐵道、軌道ニ接近並行シテ敷設致シマスル場合ニ於キマシテハ、成ルベクサウ云フ地方ニ於テ地方鐵道、軌道ニ影響ノナイヤウニ考ヘマシテ、能ク其ノ路線ヲ選定シタイ、或ハ仰シヤル通り窮屈ナ思ヒヲスルト云フ非難ハアリマスケレドモ、兎モ角サウ云フ風ニシテ實際上ノ摩擦ヲ成ルベク避ケテ行キタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○男爵久保田敬一君 今御話ノヤウニ此ノ補償ノ規定ヲ制定シマスノハ餘程困難ダラウト思フノデアリマスガ、其ノ反對ニ又此ノ規定ガアツタナラバ、其ノ利用ノ範圍ト云ヒマスカ、便利ハ大變ニ大キイドラウト思フノデス、成ルベクムヅカシイト仰シヤラズ、何トカ出來ル工夫ヲナスッデ、省營「バス」ガ地方鐵道、軌道ニ影響ヲ及シタ場合ニモ何カ補償ガ出來ルヤウニオヤリニナリ、且省營「バス」ノ方モ遠慮ナシニ地方ノ利便ノ爲ニ十分ニ機能ヲ發揮スルコトガ出來ルヤウニ御考ヘ直シヲ願ヒタイト思ヒマス

○委員長(伯爵堀田正恒君) 他ニ御質問ハゴザイマセヌカ、モウ大體御質問ハナイモノト認メテ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(伯爵堀田正恒君) デハ鐵道法中改正法律案、軌道法中改正法律案ニ對スル質疑ハ終了シタモノト認メマス、續イテ討論ニ入りタイト存ジマス、御意見ガアリマシタラ御述ヲ願ヒマス

○子爵秋元春朝君 私ハ此ノ兩案ニ對シテ贊成ノ意ヲ表スル次第デアリマス、別ニ諄諄シイコトハ申上ゲマセヌガ、唯希望ト致シマシテ、目下戰爭中デモアリマスシ、殊ニ長期建設ト云フモノニ對シマシテ、我々

國民トシテハ銑後ノ護リヲ固クスル、且其ノ遂行ヲ期ス爲ニ多少ノ不便ハ無論覺悟ノ前デヤツテ居リマスガ、銑後ノ護リヲ遂行スルノ活動ニ不便ニナルヤウナ、足ノ脅威トカ、或ハ輸送ノ不足トカ云フヤウナモノヲデス、一日モ早く緩和セラレテ、十分ニ活動ノ出來ルヤウニ應急ノ處置ハ勿論ノコト、ソレカラ又將來ノ對策ニ對シテモ尙一層御努力アツテ、速カニ其ノ實現セムコトヲ希望致シ、本案ニ贊成ノ意ヲ表シマス

○子爵久保田敬一君 私モ此ノ兩案ニ對シテ贊成スルモノデゴザイマス、此ノ地方鐵道法及軌道法ノ改正ニ付テハモット根本的ナ改正ヲナサル必要ガアルト思フノデアリマス、今回御出シニナリマシタヤウナ改正ハ、誠ニ枝葉末節ノ改正デアッテ、反對スル理由モアリマセヌケレドモ、之ニ對シテハ満足ノ意ヲ表スルコトガ出來ナイト思フノデアリマス、尙能ク御考究ニナリマシテ、地方鐵道及軌道法ニ對スル根本的ナル方針ヲ御立テニナッテ、モット根本的ノ御改正ヲ將來ナサリマスヤウニ希望致シマシテ、贊成ノ意見ヲ附加ヘテ置キマス

○委員長(伯爵堀田正恒君) 別ニ外ニ御意見ガナイヤウデアリマスカラ、討論ハ終結シタモノト認メマス、續イテ採決ニ入りマ

ス、全部原案通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(伯爵堀田正恒君) 御異議ナイモノト認メマス、可決スベキモノト決シマシタ、續イテ明治四十五年法律第二十三號中改正法律案ニ付テ尙御質問ガゴザイマシタラバ一ツ……

○子爵秋元春朝君 私ハ、此ノ樺太ノ石炭ニ關スル法案ニ付テ極ク細カイ事デアリマスガ、二三伺ッテ見タイト思ヒマス、此ノ前ノ時ニ採炭量デスカ、採掘量デスカノコトニ付テ御話ガチヨットアツタノデスガ、非常ニ安い料金ヲ凡ソノ目安ニシテ入札ヲ致シタラ、豈圖ラン二十倍モ高イ料金デ入札ガ落チタト云フヤウナコトガ御話ノ中ニチヨットアツタヤウニ思ヒマスガ、一體此ノ封鎖炭田ヲ開封サレルノハ毎年アルノデスカ、ソレトモ偶ニチヨコノアルノデスカ、今迄ハドンナ風ナ計畫ニナッテ居ルカ、其ノ開封ノ何ト云ヒマスカ、工程トデモ云フヤウナモノニ付テ御話ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(棟居俊一君) 封鎖炭田ノ開封ハ現在迄三回實行致シマシタ、ソレハ今迄ノ開封ノ事情ハ、現在ノヤウニ樺太ノ石炭ガマダ地方民ト殆ド連絡ノナイ方針ノ下ニ實行サレテ居リマシタノデ、樺太島内ノ主

トシテ地元ノ需要ニ充ツル爲ニ必要ナル限度及其ノ場所デ開封致シテ居リマシタ、最初ニ開封致シマシタノハ川上炭坑ト申シマシテ、今度開封致シタイト考ヘテ居リマス内淵ノ炭田ト鑛脈ガ續イテ居ル所デアリマシテ、中部炭田ノ一番最南端ニナッテ居リマス、此處ヲ大正二年ニ開封致シマシテ、是ハ豐原、大泊、落合方面ニ其ノ當時ハマダ樺工、富士製紙ト云フ會社ガアリマシテ、結局三會社ガ樺太デ竝立致シテ居ル時代デアリマシタガ、此ノ三ツノ製紙工場ガ出來元ノ用炭、ソレカラ鐵道用炭ノ爲ニ、此ノ川上炭鑛ヲ開封致シマシタ、ソレカラ其ノ次ニ北部炭田ノ内川ヲ昭和四年ニ開封致シマシテ、是モ數番地方ニ相當住民ガ殖エテ參リマスシ、製材工場ガ出來マスシ、行ク行クハ人絹工場ガ出來ルコトニナリマスノデ、此ノ方面ノ主トシテ地元ノ産業及住民ノ爲ニ石炭ヲ供給スルト云フ意味デ開封致シマシタ、ソレカラ南部炭田ノ内幌ト云フ所モ同様ナ意味ヲ以チマシテ眞岡方面ト本斗方面ニ對スル産業及一般燃料ノ供給ノ爲ニ、是ハ昭和七年ニ開封致シマシタ、各、主トシテ其ノ地方々々ノ需要ニ應ズル爲ニ開封致シマシタノデアリマスガ、其ノ後段々

ト樺太炭ニ對スル認識ガ加ッテ參リマシテ、殊ニ川上炭ノ如キハ大泊カラ相當ノ量ノモノヲ内地ヘ移出シテ居リマスシ、内幌ハ現在低溫乾溜以外ノモノハ大部分内地需要ニ充テル、北ノ方ノ惠須取ノ方面ノ需要モ相當加ッテ參リマシタ、是ハ民有炭田ガ大イニ開封サレテ居リマスノデ、其ノ方面ニハ特ニ封鎖炭田ノ開放ニ依ッテ石炭ノ供給ノ途ヲ拓ク必要ガナイノデアリマス、將來モサウ云フ方針デ續ケテ參ル外ニ、最近ハ内地方面ノ需要ガ非常ニ増シマシタノデ、地利ヲ得マシタ方面ニ付キマシテ矢張り開封ノ方針ヲ立テナケレバナラスノデハナイカ、ソレデ昭和十四年度カラ豫算ヲ載キマシテ、八年間ノ計畫デ此ノ封鎖炭田及民有炭田ニ對シテ基本的ナ企業計畫ヲ立テルコトニ致シマシテ、人モ相當殖シテ居リマス、行ク行クハ燃料政策一般ニ付テ樺太ノ炭田ハ民有炭田ガ相當重要視サレルノデハナイカト、斯様ニ考ヘテ居リマス、其ノ方針デヤッテ參リタイト考ヘテ居リマス、ソレカラ採掘料ノ問題ニ付キマシテ、此ノ前御答ヲ申上ゲテ置キマシタガ、川上炭鑛ヲ大正二年ニ開放致シマシタ時ニハ、外ニ競争者ガアリマセヌ爲ニ、結局三井鑛山ニ六錢デ落チマシタ譯デアリマスガ、是ハ其ノ當時ノ狀

況カラ見マシテ、豫定價格ト殆ド匹敵致シテ居リマス、ソレカラ内川炭鑛ハ三十一錢デ落札致シマシタ、是ハ少シ其ノ當時ハ周圍ノ事情ガ稍、炭價ガ上向イテ居リマシタノト、其ノ方面ノ需要ガ相當ニ切迫致シテ居リマシタ爲ニ、是亦三井鑛山ニ只今申上ゲマシタ料金デ落チマシタ譯デアリマス、此ノ時ハ三井以外ニ大倉鑛業ガ加リマシタガ三井ガ三十一錢、大倉鑛業ハ七錢五厘デ、結局三井鑛山ニ落チマシタ譯デアリマス、ソレカラ内幌ヲ昭和七年ニ開放致シマシタ時ニハ、王子系統ノ樺太工業ガ五十三錢、三井鑛山ガ七十六錢、三菱ガ一圓ト云フコトデ、結局最高ノ三菱ニ落札致シマシタ、是ハ内幌ガ相當地利ヲ得テ居リマス關係上競争ガ激シカッタノデアリマス、當時ノ豫定價格ハ僅カ五錢デアッタノデアリマスガ、業者ノ競争意識ト申シマセウカ、相當競上リマシテ、サウ云フ結果ニナッタノデアリマス、是ハドウモ最高ヲ抑ヘルト云フ方法モアリマセヌシ、結局最高ガ何處迄參リマシテモ、其ノ一番最高ノモノニ落スト云フ建前ニナッテ居リマス關係上、殆ド業者ノ競争ニ依ッテ斯様ナ結果ニ相成リマシタモノト想像サレテ居リマス、將來共ドウ云フ風ニ料金ガ入札ノ場合決ルカト云フコトハ、チヨッ

ト今何共判斷致シ續ル次第デアリマス
○子爵秋元春朝君 今ノ御説明デ大體分リマシタガ、樺太廳ガ凡ソ見込ヲ立テラレテ、サウシテ其ノ位デ、入札最高價格ト云フノハ、サウ二十倍モ違フト云フノハドウ云フモノデスカ、樺太廳ノ御役人サンガ非常ニ疎カッタト云フ意味カ、ソレトモ又入札デ是非落サウト云フ方ガ、樺太デ受取ッタ値段ノ原價ト申シマスガ、ソレニ運賃ヲ加ヘルカ、何カシテ何處カヘ持ッテ行ッテ非常ニ高ク賣レル、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ、樺太デハ炭ガ非常ニ安カッタガ、内地ハ急ニ騰ッテ居ル、今幾ラデモ炭ガアレバ、是ハ直グ宜イカラト云フ譯デ、急ニ見込ノ二十倍出シテモ競合ッテ迄取ラウ、ソナニ高イモノヲ取ッテ、取ッテ會社ガ引合フ積リガナケレバ、ヤル氣遣ハナイト思ヒマスガ、ソレハ少シワカシク思フノデスカ、モウ少シ詳シク話ガ分ッテ居リマセヌカ
○政府委員(棟居俊一君) 全ク豫定價格ト非常ナル相違ガアリマスコトハ、チヨット異様ニ考ヘラレマスケレドモ、恐ラク其ノ當時ハ一圓デ落シテモ引合フト云フ確信ノ下ニヤッタト思ヒマス、併シ此ノ三菱ガ一圓デ落シマシタ後ニ、樺太廳ノ德澤ノ下ニ低溫乾溜ヲ始メマシタ、低溫乾溜ハ御承知ノ通り

ニ全ク引合ヒマセヌ事業デ、別途ニ助成金ヲ三十數萬圓出シテ居リマス、結局最初ハ燃料炭トシテ賣ル積リデ、此ノ値段デ入札致シマシタと思ヒマスケレドモ、後日ハ低溫乾溜ノ燃料炭ニ使ヒマス爲ニ甚ダ引合ハナイコトニナリマシタ、若干ノ調整ヲ實ハ致シマシタ譯デアリマス、川上炭及内川炭ハ其ノ後燃料炭トシテノミ用ヒテ居リマスノデ、是ハ別ニ其ノ後變動アリマセヌ、内幌炭ハ今言ツタヤウナチヨット桁外レノ競争ニナリマシタノデ、説明ガ附キマセヌノデアリマス、結局事實ノ成行デサウ云フ風ニ決ッテシマッタト申上ゲル外ナイト思ッテ居リマス

○子爵秋元朝春君 大體諒承致シマシタ、次ニ何シロ二十億「トン」モアル大量ノ石炭デスガ、今日迄ソレヲ封鎖シテ置カレタト云フノニハ、何カ非常ナ理由デモアッテ、之ヲ惜ミ「ト云ッテハ」フカシイガ、取ッテ御置キニナッタノデセウカ、私ノ考デハ、斯ウ云フヤウナ非常時トカ何トカ云フ意味ヲモ豫想シテ態々取ッテ御置キニナッタと思フノデスガ、今日デハ御承知ノ通り内地デモ非常ニ石炭ガ無クテ困ッテ居ルノデス、殊ニ此ノ冬アタリハ北海道邊リノ雪ノ爲トカ何トカデ輸送力ガ非常ニ不足シタ結果、マルッキ

リ炭ガ来ナイト云フヤウナコトデ、非常ニ高クナッテ居ルノデスガ、今迄ドウ云フヤウナ徑路デ樺太ノ炭ガ内地ノ方ニ入ッテ来テ居リマスカ、或ハ横濱迄參リマスカ、ソレヲ一ツ徑路ニ付テ御話ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(棟居俊一君) 十億「トン」内外ノ埋藏量ノアリマス三ツノ封鎖炭田ハ比較的、一種ノ睡眠資源ト申シマスカ、埋藏量ヲ有ッテ居ナガラ、餘リ活動シテ居ナカッタト云フコトニ付キマシテハ相當ニマア何カ特殊ナ事情デモアルノデヤナイカト云フ風ナ疑問モ生ジマスノデアリマガ、併シ樺太石炭ト云フモノガ比較的ニ關心ガ有アレ始メマシタノハ、極ク最近ノコトデアリマシテ、此ノ拓殖計畫ヲ昭和八年ニ立テマシタノデアリマスガ、其ノ後十五箇年ノ計畫デ只今進行政シテ居リマス、其ノ當時港灣設備或ハ鐵道設備ト云フヤウナモノモ、石炭ニ對スル色々ノ、マア設備ヲ考慮致シテ居リマス、處ガ其ノ當時ハ百萬「トン」ニナレバ相當ナモノデアアル、斯ウ云フ風ナ見積リノ下ニヤッテ居リマシタ、現ニ大泊ノ如キモ左様ナ計畫ノ下ニヤッテ居リマス、眞岡、本斗ノ如キモノモマア百萬「トン」計畫ノ中ニ入レラレテ居リマス、併シ其ノ後非常ナ出炭力ガ増シテ參リマシテ、

昭和十年二百五十萬「トン」、十一年ニ二百萬「トン」、十二年ニ二百五十萬「トン」、昨年ハマダ確定致シテ居リマセヌガ、三百五十萬「トン」、本年ハ五百四十萬「トン」ヲ豫定致シテ居リマス、昭和十五年ニ總テ企業計畫ヲ立ッテ居リマスガ、六百五十萬「トン」、昭和十六年ガ七百五十萬「トン」、サウ云フ狀況デ、千萬「トン」位ニ上ス豫定デ、業者ト連繫ヲ保チマシテ、増産計畫ヲ實ハ今内々デアリマススケレドモ立ッテ居リマス、從ヒマシテ昭和十年カラ躍進ヲ始メタト云フ狀態デアリマシテ、マア最近ハ非常ナ樺太方面ノ石炭ト云フモノニ對シテハ見違ヘルヤウナ業者方面ノ熱心ガ加ッテ參リマシタ、併シ我々ノ方ト致シマシテハ、封鎖炭田ヲ此ノ際強ヒテ開放シナクテモ、現在十億「トン」ノ民有炭田ガアリマスノデ、此ノ開放ニモウ殆ド必死ニナッテ居ッテモ、資材勞力等或ハ運搬關係デ手ガ廻リ兼ねテ居ル、最モ優秀ナ條件ヲ持ッテ居リマス、北部ノ西海岸方面ノ炭田約七億噸アリマスガ、之ノ増産ヲ促進サセルト云フコトガ一番捷徑デナイカ、封鎖炭田ハ一番液化ニ適シテ居リマス、液化炭トシテヤルコトガ燃料政策上矢張り策ノ得タモノデハナイカ、行ク「ハ」地元用炭、内地方面ノ急ナ需要ニ充テマ

スル外、液化ニ振向ケタイト云フ希望ヲ持ッテ居リマスノデスガ、併シ是ハ先程申上ゲマシタヤウニ、明年度カラノ調査ニ依リマシテ、基本的ナ、綜合的ナ計畫ヲ立テマシタ上デ、方針ヲ決メルノガ一番適切デナイカ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○子爵秋元朝春君 十四年度ハ是モ豫定ハ何萬「トン」位デスカ

○政府委員(棟居俊一君) 五百四五十萬「トン」デゴザイマス、内地方面ハ主トシテ川上炭ヲ從來輸出シテ居リマシタガ、最近ハ北部ノ惠須取ノ方面ノ石炭ガ特別ノ製鐵所ノ原料炭ニ向イテ居リマスガ、是ガ非常ニ需要サレテ居リマスノデ、本年ハ三百四五十萬「トン」位ハ内地方面ニ出シタイト考ヘテ居リマス、尙朝鮮ニモ二十萬「トン」出シタイト云フ豫定ヲ立ッテ居リマス、行ク行クハ五百萬「トン」ハ惠須取方面カラ優ニ出シ得ルト思ッテ居リマスシ、尙既ニ事業ニ著手シテ居リマス、川上其ノ他ノ石炭モ之ニ加ハリマスルカラ、五百萬「トン」以上ハ内地方面ニ優ニ出シ得ルト思ヒマス、唯港灣、鐵道、其ノ他色々ノ條件ガ考ヘラレマスカラ、ソレニ對スル用意ガ整ハナケレバ、目論見通りニハイカスト思ヒマス、業者ト樺太廳ハ左様ナ方針ノ下ニ商工省、企畫院

ト連絡ヲ取ツテ計畫ヲ立テテ居リマス

○子爵秋元春朝君 サウシマス、斯ウ云

フ風ニ了解シテ宜シウゴザイマス、今度ノ封鎖炭田ヲ開放スルノハ、是ハ今度出來

ル帝國燃料株式會社ノ石炭液化方ニ使フ、尙又其ノ他民有炭ガ相當ニアルノデ、ソチ

ヲノ方ニハ殆ド影響ナシニ、燃料會社ノ方ニ石炭ヲ無入札デ渡シテモ、民需ノ方ノ燃

料ト申シマス、工業炭ニ入ルモノデアリマス、又内地ニ送ツテ來ル燃料炭ノ需要ハ

假令激増シテモ差支ナイ、相當ニソレニ供給スルダケノモノガアルノダト云フ風ニ、

斯ウ解釋シテ宜シウゴザイマス

○政府委員(棟居俊一君) 封鎖炭田ハ此ノ際一般ノ燃料用炭トシテ開放致シマセヌデ、

民有炭田ノ増産計畫方圓滑ニ進行致シマスレバ、樺太廳ト致シマシテハ非常ニ内地方

面ニ對シテハ貢獻ヲ爲シ得ルノデハナイカ、其ノ方面ニ寧ロ努力シテ生産擴充ノ爲ニ注

グト云フコトノ方ガ總テ捷徑デハナイカ、斯様ニ考テ居リマス

○子爵秋元春朝君 大體了解致シマシタ

○今井五介君 チョット伺ツテ置キマス、封鎖炭田ハ液化事業ヲスルモノニ限ツテ許可ヲ爲サル、斯ウ云フナノカ、其ノ他ノ燃

料方面ニハ許可ヲシナイト云フノデスカ

○政府委員(棟居俊一君) 左様デアリマセ

ヌ、今迄ノ法律ノ建前デ以前一般ノ採掘ハ

其ノ都度狀況ニ依リマシテ許可ヲ致スコトニナツテ居リマス

○今井五介君 尙伺ツテ置キタイノデアリマ

スガ、出願者ノ資格ノ程度ト云フモノハドシナ程度カ、御漏シ下サルナラバ、チョット伺ツテ置キタイと思ヒマス

○政府委員(棟居俊一君) 今度ノ法律ノ改正ノ趣意ハ、人造石油製造事業會社ニ採掘ノ爲ノ指定ト認メマスノデ、是ハ人造石油事

業ノ資格ニ該當スル者ヲ當然認メルコトニナリマスガ、今迄ノ建前デアリマスモノハ

斯ウ云フコトニナツテ居リマス、是ハ勅令ガアリマシテ、勅令デ資格ヲ定メルコトニナツ

テ居リマスガ、直接國稅千圓以上納メル者ト、ソレカラ一年間ニ五萬「トン」以上ノ石

炭ヲ出ス鑛區ヲ二年以上經營シテ居ル者、此ノ二ツノ條件ニナリマス

○今井五介君 尙伺ツテ置キタイノハ、採掘料ハ競争ニ附スルト云フガ、競争デナクテ、

一人デアッタ時ニハドウナリマス

○政府委員(棟居俊一君) ソレハ其ノ者ガ豫定價格以上ノ入札デアリマスレバ、其ノ

者ニ落チマス譯デアリマス

○今井五介君 競争者ガアッタ場合ニデモ、

豫定價格ニ達シナケレバ許可シナイ、斯ウ云フ譯デスカ

○政府委員(棟居俊一君) 左様デアリマス

○委員長(伯爵堀田正恒君) 外ニ御質問ゴザイマセスカ、御質問ハ終了シタモノト見

テ宜シウゴザイマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(伯爵堀田正恒君) 御異議ナイモノト認メマス、續イテ討論ニ入リマス、御

意見ガゴザイマシタラ……

○子爵秋元春朝君 私ハ本案ニ賛成ノ意ヲ表スル一人デアリマスガ、唯希望トシテ、

是ハ強イ希望ノ意味デ一二申上ゲテ置イテ賛成シタイと思フノデスカ、兎角競争入札

ガアツテスラ、色々ナ問題ガ今迄起ツタノデアリマスガ、殊ニ又特殊會社ニ對スル關係

ニ付テモアルノデアリマスガ、今度入札ガナクナル、サウシテ殆ド指定的ノ會社又ハ

個人ニ之ヲ渡スト云フコトニナリマス、今迄例ガアツタカナイカ知リマセヌガ、兎角

相當ニ色々ノ情實トカ何トカ色々ナコトガ出來易イ處ガアリハシナイカ、斯ウ云フヤ

ウナコトニ付テ最モ御注意ヲ願ヒタイと思フノデアリマス、尙又表面ハ燃料會社ヲシテ

國策ニ副フテノ貢獻ヲ十分ニスル爲ニ、不當ナ競争入札ニ依ツテノ負擔ヲ掛ケズニ、之

ヲ助成シテ行カウト云フ御趣旨ハ甚ダ結構

ナコトデアリマスケレドモ、幾ラソレ程迄

ニヤツテモ燃料會社タルモノハ一人歩キハ出來ナイ、收支チツトモ合ハヌト云フヤウナ

コトニナルト、行キ着ク所迄無償デモ構ハナイ、其ノ燃料會社ヲ生カス爲ニヤラナケ

レバナラヌト云フコトニナル處モ亦一方アルノデアリマスガ、是等ニ付テドウカ十分

ノ御考慮ト、監督上ノ綿密ナル御注意ヲ願ッテ、他日問題ヲ惹キ起サナイヤウニ、而シ

テ國策ニ貢獻シ、十分「ガソリン」ナリ何ナリノ豊富ニナルト云フヤウナコトニ行クヤ

ウニ、深甚ノ御注意ヲ切望シテ、強イ意味デ切望シテ本案ニ賛成シマス

○男爵福原俊九君 私モ此ノ案ニ大賛成デ、國防上勿論必要ナル、重要ナル人造石油會

社ヲ補助スル上ニ於テ、隨意契約ガ出來ルト云フコトハ雙方トモ大變結構ナコトデア

ル、又必要ナコトト思ヒマスガ、今秋元子爵カラノ御希望モアツタヤウニ、又私モ質問

シタヤウニ、此ノ隨意契約時ノ價格ノ問題、價格ガ高ケレバ、此ノ事業ノ採算ニ及ス影

響ハ大キイノデスカラ、無論マダ十分ナル成功ハシテ居ラス、所謂試驗的ノ會社デア

ルカラシテ、相當ニ價格モ採算ガ引合フヤウニ賣渡サレルコトト思ヒマスガ、其ノ價

格ノ決メラレル點ニ對シテハ十分、質問ノ時ニ當局カラノ御答モアツタヤウニ、商工省又軍部ノ方トモ十分ナル打合せガアツテ、細心ノ注意ヲ拂ハレテ、此ノ法案ヲ實行サレムコトヲ望ム次第デアリマス、殊ニ樺太ニ對シテハ從來木材ノ拂下ニ付テハナカ、色々ナ面倒ナ問題モアツタヤウデアリマスカラ、一層其ノ點ハ能ク注意セラレムコトヲ希望スル次第デアリマス、之ヲ以テ私ハ此ノ案ニ賛成ヲ致シマス

○委員長(伯爵堀田正恒君) 他ニ御意見ゴザイマセスカ……御意見ガナイヤウデアリマスカラシテ、討論ハ終結シタモノト認メマス、續イテ採決ニ移リマス、明治四十五年法律第二十三號中改正法律案全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案通りデ御異存ゴザイマセスカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(伯爵堀田正恒君) 御異議ナイト認メマス、本案ハ可決スベキモノト決定致シマシタ、ソレデヤ今日ハ是デ散會致シマス

午後二時三十二分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵堀田 正恒君
副委員長 男爵大藏 公望君

委員

侯爵池田 宣政君
侯爵大炊御門經輝君
子爵野村 益三君
子爵秋元 春朝君
子爵保科 正昭君
男爵福原 俊丸君
男爵久保田敬一君
今井田清徳君
澁澤 金藏君
今井 五介君
松本勝太郎君
風間八左衛門君

政府委員

大藏參與官 矢野庄太郎君
鐵道政務次官 工藤十三雄君
鐵道省監督局長 鈴木 清秀君
鐵道省運輸局長 山田新十郎君
鐵道省建設局長 堀越 清六君
鐵道省工務局長 阿曾沼 均君
鐵道省經理局長 池井 啓次君
拓務政務次官 寺田 市正君
拓務省管理局長 副島 勝君
臺灣總督府總務長官 森岡 二郎君
臺灣總督府財務局長 嶺田 丘造君

臺灣總督府殖産局長 田端幸三郎君
樺太廳長官 棟居 俊一君

昭和十四年三月十三日印刷

昭和十四年三月十四日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局